

# 中国（上海）ビジネスサポート

## Monthly China News

\*毎月1回、定期的に中国より配信致します。

### 【政治・経済】

- **王毅氏が中日平和友好条約締結 45 周年記念レセプションに出席**：王毅中共中央政治局委員（中央外事活動委員会弁公室主任）は 23 日夜、北京で中日平和友好条約締結 45 周年記念レセプションに出席した。日本の福田康夫元首相など日本の来賓及び各界の友好関係者 200 人余りが出席した。王氏はスピーチで「混迷する国際情勢を前に、中日関係は再び重要な岐路に立っている。習近平国家主席は、中日関係の重要性は変わっておらず、変わることもないと指摘した。安定した互恵的な中日関係は両国にとって極めて重要であり、アジアにとって不可欠であり、世界に対して重要な影響力を持つ。我々は条約締結 45 周年を契機に、条約の初心を胸に刻み、条約のコンセンサスを遵守し、条約の原則を実行し、中日関係が健全な発展の軌道に戻る後押しをする必要がある」と指摘。福田元首相はスピーチで「日本は中国と共に、条約の趣旨を発揚し、直面する困難を克服して、さらに日中間の善隣友好を促進し、平和・友好・協力を深めるために、たゆまず努力していくことを望んでいる」とした。  
(10/24 新華社・人民網)
- **「一帯一路」メディア協力フォーラム 2023 が開催**：「メディア協力を強化し、素晴らしい未来を共に創造する」をテーマとする「一帯一路」メディア協力フォーラム 2023 が 19 日、人民日報社の主催で北京で開催された。今回は 7 回目の開催で 100 余りの国と地域のメディア、シンクタンク、国際組織の代表 1,000 人余りが参加し、「一帯一路」の共同建設のためにメディア間のハイレベル対話・協力の場となってきた。109ヶ国・238 のメディアや機関の参加する「一帯一路」ニュースネットワークは、すでに「一帯一路」共同建設国にとって重要なメディア協力プラットフォームとなっており、参加規模の拡大、業務協力の深化、対話メカニズムの拡大などの面で重要な協力の成果を得ている。(10/20 人民網)
- **2023 年 1-9 月の全国外資導入額 9,199.7 億人民元**：商務部のデータ発表によると、2023 年 1-9 月の間、中国全国で増設外資系企業は前年同期比 32.4%増の 37,814 社で、実行ベース外資導入額は前年同期比 8.4%減の 9,199.7 億人民元（以下「億元」と略称）であった。業界別から見ると、製造業の実行ベース外資導入額は前年同期比 2.4%増の 2,624.1 億元で、そのうちハイテク製造業の実行ベース外資導入額は前年同期比 12.8%増であった。医療機器設備その他機器・計器製造業、電子・通信設備製造業はそれぞれ 37.1%、21.5%増であった。サービス業の実行ベース外資導入額は前年同期比 15.0%減の 6,302.3 億元であった。建設業、研究開発・設計サービス分野の実行ベース外資導入額はそれぞれ 46.3%、10.2%増であった。(10/20 中華人民共和国商務部)
- **9 月全国の消費者物価指数 (CPI) は前月比 0.2%上昇、生産者物価指数 (PPI) 前月比 0.4%上昇**：国家統計局によると、9 月全国 CPI は、前年同期比横ばいだった。そのうち食品価格は 3.2%低下、非食品価格は 0.7%上昇となり、工業消費材価格は 0.3%低下、サービス価格は 1.3%上昇、9 月消費市場は回復を続けている。また、工業品市場が徐々に回復し、国際原油価格の高止まりの影響を受け、PPI 前月比の上昇幅は拡大し、前年同期比の下落幅は縮小した。9 月全国 PPI は、前年同期比 2.5%低下となった。(10/13 人民網・国家統計局)

- ・ **9月製造業 PMI（購買担当者景気指数）は 50.2%に上昇**：中国物流調達連合会と国家統計局サービス業調査センターがこのほど発表した9月中国の製造業 PMI は前月比 0.5 ポイント上昇の 50.2%となり、非製造業 PMI、総合 PMI はそれぞれ 51.7%、52%に達し、前月から 0.7 ポイント上昇となった。三指数はいずれも景気拡大水準にあり、中国経済景気水準は持続的な安定回復傾向がうかがえる状態だった。（9/30 中国国家统计局・新華社）

### 【製造業関連・関連の政策等】

- ・ **2023 年第 3 四半期までの上海市国民経済運行状況**：上海市統計局、国家統計局上海調査総隊が発表した地域総生産（GDP）統一採算結果によると、第 3 四半期までの上海市地域 GDP は 33,019.23 億元で、物価変動要因を除いた実質では前年同期比 6.0%増であった。内訳は、第一次産業 56.42 億元増（前年同期比 2.1%増）、第二次産業 7,953.57 億元増（前年同期比 4.2%増）、第三次産業 25,009.24 億元増（前年同期比 6.6%増）であった。（10/20 上海市統計局）
- ・ **中国の「新 3 種」製品の輸出額は 14 四半期連続で 2 桁増**：中国税関総署の呂大良報道官は 13 日、中国輸出の総合競争力は依然として強固で、リチウム電池、電気乗用車、太陽電池などの「新 3 種」製品の輸出額は 14 四半期連続で 2 桁増を維持してきたと発表。直近 2 ヶ月、中国民生機器産業チェーンにおける従来の優位製品の輸出額は安定して好調に向かい、集積回路の輸出額は 8 月にマイナス成長からプラス成長に転じ、9 月は前年同期比 2.8%増となった。携帯電話、パソコンの 9 月輸出額は前月比でそれぞれ 124.9%、8.3%増で、前年同月比でそれぞれ 14.3 ポイント減、13.4 ポイント減であった。同氏は、中国の主要な従来市場における輸出は顕著に改善され、新興市場における輸出は伸びが加速していると述べた。（10/13 中国新聞網）
- ・ **中国 9 月の自動車販売量と生産量はいずれも過去最高更新**：9 月中国の自動車生産量は前年同期比 6.6%増の 285 万台となり、自動車販売量は前年同期比 9.5%増の 285.8 万台だった。1-9 月期のデータを見ると、自動車の生産量は前年同期比 7.3%増の 2,107.5 万台で、販売量は同 8.2%増の 2,106.9 万台だった。新エネルギー自動車は 5 カ月連続で市場占有率 30%を超え、9 月生産量と販売量はそれぞれ 87.9 万台と 90.4 万台に達し、前年同期比 16.1%、27.7%増、市場シェアは 31.6%に達した。（10/11 中国工業信息化部・人民網）

### 【トピックス】

- 1、**中秋節・国慶節連休 中国国内観光収入 7,534.3 億元**：2023 年中秋節と国慶節連休期間中、全国国内観光者数は前年同期比 71.3%増の延べ 8.26 億人で、2019 年比で 4.1 増、国内観光収入は前年同期比 129.5%増の 7,534.3 億元で、2019 年比で 1.5%増であった。8 連休は、人々の観光ニーズを集中的に解放させた。ここ数年のブームが高まった現地ツアー、周辺ツアーと比べ、今年は人々の移動が加速、都市間から海外まで、移動半径が著しく拡大した。（10/6 人民網）
- 2、**杭州アジア競技大会は世界記録 15 件を更新 チケット収入 6.1 億元**：10 月 7 日杭州アジア競技大会の各試合は終盤に差し掛かっており、大会組織委員会は午前中に総括記者会見を開いた。杭州アジア競技大会の盛況について、同大会の毛根洪報道官は「アジア大会は中秋節と国慶節にあたり、注目度が高まった」、「10 月 7 日現在、チケット出札 305 万枚、チケット収入 6.1 億元で、観客在席率 92%超、10 月 1 日の入場者は最大 29 万人に達した」と報告した。（10/7 澎湃新聞）
- 3、**2023 年「フォーチュン・グローバル 500」、中国から 142 社がランク入り**：「新構造：激変と再建」をテーマとする 2023 年フォーチュン・グローバル 500 サミットが 12 日、広州市で行われた。

サミットでは2023年「フォーチュン・グローバル500」入り企業への証書の授与式が行われた。現場で明らかになったところによると、今年の「フォーチュン・グローバル500」企業の売上高の合計は約41兆ドル（1ドルは約149.8円）で、前年比で8.4%上昇した。同ランキングのランク入りの基準（最低売上高）も286億ドルから309億ドルに上がった。今年は中国から計142社がランク入りし、会社数で引き続き世界最多となった。（10/12 人民網）

**4、上海の多国籍企業地域本部は940社に達している**：10月15日に行われた『第35回上海市長国際企業家諮問会議』の記者会見によると、今年以来、上海市に新規設立した多国籍企業地区本部、外資系研究開発センターはそれぞれ49社、20社で、累計でそれぞれ940社と551社に達し、テスラエネ貯蔵スーパー工場、ボストン科学医療技術産業拠点など一連の重要な外資系プロジェクトが調印手続きを終え相次ぎ同市に進出した。今年の第3四半期までに、上海市では、工業戦略的新興産業が全市の一定規模以上企業工業総生産額に占める割合は44%以上に向上し、重点的に発展を促進した集積回路（IC）、バイオ医薬、人工知能（AI）という3つの先導産業はいずれも順調に成長し続け、新エネルギー自動車、新エネルギー、ハイエンド装備など新興産業の生産額は二桁の伸び率を維持してきた。（10/15 新華網）

#### 【中国新材料・新エネプロジェクト】

##### 【新材料】プロジェクト着工！宜興新材料産業の発展はまた新動力を追加

10月15日、総投資額10億元の順鉍新材料機能性ポリイミドフィルムなど新材料産業化プロジェクトが江蘇省宜興市徐舍鎮で着工した。順鉍新材料は基幹事業を長年にわたり深耕し続け、マイクロソフト、アップル、テスラ、華為、BYD、寧徳時代などの世界有名な企業と密接に協力しており、市場見通しが非常に広い。今回のプロジェクトは無錫順鉍新材料有限公司が投資し、全面竣工後、PIフィルム年産11,200万平方メートル、PTFEフィルム年産3,214万平方メートル、PIフィルム複合・塗布年産200万平方メートルの生産能力を整え、年間売上高（課税収入）10億元超となる見込み。（10/16 中国江蘇網）

##### 【新エネ】合盛硅業ソーラー発電全産業チェーン貫通

合盛硅業の新疆甘泉堡経済技術開発区に位置する「多結晶シリコン-単結晶スライス-電池モジュール&光起電ガラス-光発電」一体化の全産業チェーン団地が完成した。主に年産能力20万トンの高純度多結晶シリコン、年産能力20GWの単結晶シリコン棒、年産能力20GWの単結晶スライス、年産能力20GWの単結晶太陽電池、年産能力20GWの高効率結晶シリコンソーラー発電素子装置、年産能力150万トンの新エネ装置用超薄型高透光性光起電ガラス製造などのプロジェクトを建設、そしてアルミニウム型材装置、型材作業場、太陽電池フレームなどの併設プロジェクトを合わせて建設する。新疆鄯善地区に投資した東部合盛傘下の年産能力20万トンの高純度結晶シリコン生産プロジェクトは同時に建設し、2024年第1四半期に続々と生産開始する予定である。（10/15 新浪網）

##### 【新材料】璉昇科技：12GWヘテロ接合型太陽電池を推進するためにプロジェクト会社を設立する予定

10月22日、璉昇科技発表の公告によると、取締役会は会社の持株子会社である天津通迅と南通ハイテク産業開発区管理委員会との間における『新エネ12GWヘテロ接合型太陽電池プロジェクト投資協定書』及び補充協議書の締結、並びに「新エネ12GWヘテロ接合型太陽電池プロジェクト」の投資建設に同意した。本件プロジェクトの実施推進に向け、天津通迅は南通ハイテク開発区に、プロジェクト実施主体としてプロジェクト会社「江蘇璉昇科技有限公司」を設立することになっている。関連情報によると、本件プロジェクトは3期に分けて建設する予定（最終的には実際の建設状況に応じ決定）である。第1期の3GWプロジェクトは2024年9月に竣工させる予定で、見込総投資額は約20億元にな

る。第1期 3GW プロジェクト竣工・操業開始後、実況に応じ第2期 3GW、第3期 6GW プロジェクトの建設を開始する方針である。(10/22 北極星太陽光発電網)

**【新エネ】大唐中寧 100MW/400MWh 圧縮空気エネルギー貯蔵プロジェクト主体工事が全面的に着工**

10月20日、大唐中寧 100MW/400MWh 圧縮空気エネルギー貯蔵グリーン低炭素技術における課題突破プロジェクトの主要工事は宁夏中衛市中寧県で全面的に着工した。本件プロジェクトは世界初の全人工地下気体貯蔵倉庫の100MW 圧縮空気エネルギー貯蔵システムと組み合わせ、「テクノロジー革新」による新エネ体系への補完により、「炭素排出ピークアウト・カーボンニュートラル」目標実現への新しいアプローチを切り拓き、中国の新型エネ貯蔵技術の研究開発と応用における大幅な発展を意味している。本件プロジェクト竣工後の年間発電量は1.188億 kWh で、約10万世帯の年間電力消費量に相当し、税収増約4,500万元に繋がり、地域経済と環境保護の調和発展に有効で、新エネ産業チェーンの堅実な発展を効果的に推進する役割を果たす。(10/25 中国能源網)

大阪産業局上海代表処 中国（上海）ビジネスサポート  
ファクトリーネットワークチャイナ（工場網信息科技（上海）有限公司）

上海市長寧区延安西路2201号 上海国際貿易中心2階268室